

令和3年度 さいたま市地域公共交通協議会
第1回東西交通専門部会資料

令和2年度専門部会意見への対応方針

令和3年11月5日(金)
さいたま市都市局都市計画部交通政策課

令和2年度専門部会の意見への対応方針

- ・令和2年度東西交通専門部会で頂いたご意見を踏まえ、本部会における対応方針を取りまとめました
- ・この対応方針に基づき、本年度から次期答申に向けた検討ステップ・専門部会で議論が必要な内容を整理しました（資料3）

①東西交通大宮ルート検討の概要について

意見内容	対応方針	次期答申に向けた検討ステップ
・まちづくりとの関連、各種データ、輸送モードの比較等を基に、住民参加を行い、検討を進めてほしい ・新都心を含む大宮駅周辺の交通環境整備を考慮してほしい ・答申ありきではなく、さいたま市としての真のニーズに基づいた検討をしてほしい	・移動実態や移動ニーズ等の交通、関連計画における将来都市構造・交通ネットワーク等のまちづくりに係る現状把握を行い、必要性を再検証していきます	①東西交通の必要性の再検証について
・東日本の中核・玄関口である大宮と浦和美園の価値を踏まえ、まちを結んで活性化を促すことに、積極的な意義を見出してほしい ・市街化調整区域の多いエリアでは経済効果が見込めないのではないか ・既存の構想や計画（地下鉄7号線延伸、大宮GCS構想、スマートシティプランなど）を踏まえて東西交通を考えたい ・見沼田圃を横切ることについて、様々な意見が挙がるのが予想される ・想定ルートの沿線地域のまちづくりや住民の意見等との整合・連携を図った検討が必要である	・東西交通の導入による関連計画への影響、沿線地域の土地利用等の把握により効果や懸念事項を整理していきます	②新たな交通システムの導入による影響や効果の把握について
・他都市の事例は、固有の前提条件や課題に対し、どのような手法で課題解決・合意形成を図ったのか整理してほしい	・導入する道路空間や土地利用を踏まえた施設整備の考え方、沿線ニーズを踏まえたサービス水準の設定を検討し、整備時期やコスト等の視点から周辺環境への影響をしていきます	④新たな交通システムの導入計画の検討について
・人口減少、建設費・用地費、他事例の事業評価などを踏まえた上で、事業評価をしてほしい	・国や県の制度、他都市の事例等の調査により、概算事業費や費用負担等の検証方法、需要予測方法を検討し、需要予測を行っていきます	⑤事業評価の検討について

令和2年度専門部会の意見への対応方針

②中量輸送システムについて

意見内容	対応方針	次期答申に向けた検討ステップ
<検討の前提について> - 市内の道路環境を鑑みると、LRTを中心に議論を進めることに疑義がある - 市独自の道路空間・道路交通への影響などを分析して、輸送手段を決定するためのプロセスの検討した上での議論が必要である <中量輸送システムの比較検証について> - 交通システムの定義を明らかにしてほしい（フルスペックBRT、車両の高度化等） - 定時性や建設費以外の観点から、LRT等の交通システムのメリットを提示してほしい - 見沼田圃を考慮して、地下鉄にするという案も必要ではないか - 中量軌道輸送システムの待合環境を検討することも重要である <その他の施策の可能性について> - 車両や時間によるロードプライシング等のコストが小さい検討案を提示してほしい - MaaSを構築して、ソフト的な公共財として運用するなど、交通の利便性向上を図ることが必要ではないか	- まちづくりから見た東西交通の基本方針・コンセプトを明確化します - その上で、導入空間・ルートを再検証し、既存公共交通やBRT等の多様な導入システムを検討していきます - MaaS導入等、本市の公共交通政策の進捗、動向を踏まえて、新たなシステム導入に留まらない、施策の方向性についても留意し、検討します	③新たな交通システムの導入方針の検討について